

計画の背景と趣旨

・国民健康保険被保険者の健康増進、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病の予防、また、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画である。健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指すことを目標とする。

計画の評価・見直し

・レセプト及び特定健康診査結果等の分析による健康医療情報を活用し、毎年度PDCAサイクルに沿った効果分析を実施する。令和2年度には中間評価を実施し、必要に応じて計画の見直しを行う。

計画の位置付け・計画の期間


・特定健康診査等実施計画と一体的に策定するとともに、本市「長期総合計画」等他の関連計画との整合性、連携を図る。  
・平成30年度から令和5年度までの6年間とする。ただし、当該第二期データヘルス計画については、令和2年度に中間評価・見直しを実施する。

実施体制等

・計画の推進に当たって、保険年金課はもとより衛生部門、介護部門等関係部局をはじめ、本市医師会等地域との連携が必要不可欠である。地域全体の健康課題に取り組むため、計画の趣旨や内容の周知、連携の強化、協力体制づくりに努める。

実施する保健事業等

・優先的に取り組むべき健康課題を把握し、その健康課題に対応する保健事業の実施により国民健康保険被保険者の健康保持増進、生活習慣病の重症化予防等の施策を実施し、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図る。本市の健康課題及びその課題解決のために対応する保健事業は次のとおりである。

本市の健康課題	目的	課題解決のために 対応する保健事業	第二期データヘルス計画 において目指す目標
◆特定健康診査受診率が伸び悩んでいる ◆特定健康診査未受診者は、生活習慣病による医療機関受診率が低く、一方で医療費は高い現状にある	自らの健康を守る 健康意識を高める	●特定健康診査の受診勧奨事業	<b>健康寿命の延伸</b>  <b>医療費の適正化</b> (一人当たり医療費の減少) 
◆女性のメタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合が、東京都平均より多い ◆喫煙率が高い	生活習慣の改善	●特定保健指導事業 ●COPD（慢性閉塞性肺疾患）早期発見啓発事業	
◆特定健康診査結果より受診勧奨該当と判定された者の未治療率が高い ◆医療費からみると、入院率、入院一人当たり点数が高く、重症化してからの受診が多い傾向にあると思われる ◆人工透析は、生活習慣病を起因とするものが約6割を占め、そのほとんどが2型糖尿病となっている ◆死因の第1位は「悪性新生物（がん）」であり、死亡者の約3割を占めている	生活習慣病の発症・重症化予防	●健診異常値受診勧奨事業 ●生活習慣病治療中断者受診勧奨事業 ●糖尿病性腎症重症化予防事業 ●人間ドック等助成事業 ●がん検診事業	
◆医療技術の進歩や急激な高齢化に伴い、一人当たり医療費の増加傾向が続いている	医療費の減少	●受診行動適正化指導事業 ●ジェネリック医薬品の利用促進事業	